



Health ISAC Japan Security Session 2026 #04

講師：医療 AI プラットフォーム技術研究組合（HAIP）理事長 宇賀神 敦

日時：2026 年 8 月 25 日（火）17:00～18:00 Google Meet によるライブ配信



講師略歴

- ・ 2012 年英国 NHS と糖尿病予防事業や病院デジタル化の協業を推進
- ・ 2018 年内閣府第 2 期 SIP『AI ホスpital』研究責任者
- ・ 2021 年厚生労働省・経済産業省両大臣認可を経て HAIP 設立
- ・ 2023 年厚労科研『医療機関のクラウドセキュリティ』研究分担者、
厚労科研『医療機関向け生成 AI 利用ガイドライン』代表研究者
- ・ 2025 年株式会社 AIHOBS を HAIP から新設分割
- ・ 現在、HAIP 理事長、Health ISAC Japan 理事、HumaNex.AI 合同会社
代表社員・CEO、AMED プログラムスーパーバイザー・課題評価委員、
東京科学大学 非常勤講師を併任

講演要旨

本講演では、2026 年 7 月に AI・クラウドネイティブ時代に向けた医療機関のセキュリティ対策と題した提言の内容について解説する。提言の目的は、できるだけ少ない IT 投資で医療機関のセキュリティレベルをいかに向上させるか、また、医療機関の IT 投資へのインセンティブをどう設計するかである。サイバーセキュリティ対策は、①アセスメント（己を知る）、②対策（身の丈に合った対策を行う）、③-1 監査（客観的にチェックする）、③-2 訓練（有事の際の行動を確認する）、④-1 人材育成（全体のレベルを上げる）、④-2 意識改革（経営陣の意識改革を促す）の一連のサイクルを継続的に廻し続けることが極めて重要である。また、上記①から④を継続的に廻していくために⑤制度的支援（インセンティブ設計）が必要となる。最終的には、⑥医療機関の認定制度まで格上げして、見本となる先行事例を積極的に公開し、医療機関全体で共有していく風土を作っていくことを目論む。

以上